

保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人つぼみ会
施設名	つぼみ保育園
報告者（役職）	中治 隆（ 副園長 ）
住所・連絡先	鹿児島市和田 1 丁目 41-3
	☎ 099-269-5177
	E-mail tsubomi0328@hiz.bbq.jp

○タイトル（保育計画）

「どうして」と問う目。「できたよ」と挙げる手。すくすく育つ子らの輝きは、みんなちがって、みんな良い。

○主な助成備品

ピアノ、絵本棚、パーテーション、おもちゃ

1. 保育計画策定の目的

当園は認可外保育園として35年の歴史を刻んでまいりました。その間、地域の皆様との温かな交流を続け、保護者の皆様方とも認可外ならではの親密なお付き合いをさせて頂いてまいりました。お陰様で、認可園として新たな歩みをするに際して、在園児のほとんどがそのまま在園し、保育者の方々も継続して勤務して頂けることになりました。

ただ、60名定員の保育園としては園舎、園庭共に基準ギリギリの状況で、園児たちの心身の伸びやかな成長を促すための保育環境を整えるのには多くの課題がありました。

それらの課題を解決するために私たちは、「健やかな体を育てる」「豊かな感性を養う」「友達と一緒に遊ぶ」など保育の柱となるものを具現化するために必要な項目を年齢別に細かく検討して、「子どもたち一人ひとりが主人公になれる保育」に努めたいと考えて取り組んでまいりました。

2. 具体的な実施内容

【0歳児の環境整備】

1、パーテーションの設置

0歳児の園児たちが「つかまり立ち」するのにちょうど良い高さで、自分でつかまり立ちをしたり、伝い歩きをしながら四角や丸い穴から覗いたりして園児同士が楽しんだり、お迎えの保護者をのぞき穴から見て遊ぶなどして、「立ち上がり」や「歩行」を促すのに役立っています。



2、個人ロッカーの設置

個人一人ひとりの着替えやオムツを入れるロッカーなので、日々の使用頻度は高く、ロッカーの正面に園児たちが自分の収納場所を覚えられるように顔写真を貼っています。また、棚の上には連絡帳や水筒など毎日使用する物を置くなどして、登降園時の保護者、保育者とのコミュニケーションを図る場として重宝しています。

3、連結収納ベンチの設置

園児がミルクを飲む際に保育者が安定した姿勢で授乳させられるように、ベンチに腰掛けて使用しています。また、収納スペースには園児のおもちゃなどの他、帽子やお尻拭きなど色々な物をスペースごとに分けて使っています。

【1歳児の玩具】

・動物・果物パズル

パズル遊びでは型に合わせてはめ込むのはまだ難しいのですが、動物や果物の名前を覚えたり、何処にはめ込めるのかを探したりして遊んでいます。型にはめ込むときはやはずすときには、指先を使って集中して遊んでいます。



・積み木

様々な形や色があり、色の名前や形の名前を覚えながら遊んでいます。高く積み上げたり、並べたりして遊ぶことが多いのですが、異年齢保育の時には4、5歳児が創造力を働かせて遊ぶ姿を見たり、一緒に遊んだりして刺激を受けています。

【2歳～3歳児の玩具】

・穴通し

色や形が豊富で同じ形の物を重ねたり、子ども同士で会話を楽しんだりして一緒に遊ぶ姿が見られます。机に向かって椅子に座り、落ち着いて様々な色や形を選び簡単にできる穴通しに興味を抱いているようです。

・ビーズ通し

小さな穴通しであるため、ビーズを紐の上まで通すことに成功した園児は「できたあ」と大喜びして達成感を味わっています。ビーズ通しは小さな穴に通すのが難しくそれだけに集中力を養うことができる遊びになっています。

・形パズル

様々な色、形があり、園児たちは自分の好きな模様を選んで遊んでいます。パズルには表と裏があり様々なバリエーションを楽しむことができ、色彩感覚、造形力など園児たちにとって豊かな発想力を養える優れた玩具になっています。

・ブロック

園児たちは自分の自由な発想で、保育者の思いも付かないユニークな形に組み立てて遊んでいます。また、友だちと一緒に協力して大きな形の物を作り、お互いの考えを出し合って楽しむ姿も見られ、子どもならではの世界に没頭して遊ぶ姿が見受けられます。



【4～5歳児の玩具】

・リポブロック

カラフルな色と細かなパーツを組み立てることにより、指先の巧緻性をたかめ、色への興味関心を引き出し創造性を養う効果がある玩具です。また、友だちと会話を楽しみながら組み立てている園児、一人で黙々と組み立てている園児、友だちの作っているものに刺激を受けて同じ物を作ったり、作れない友だちの手助けをしてあげたりと、この玩具を通して友だちとの関わりが深まっているようです。更に、見本の冊子を見ながら、次はこれを作ってみようとチャレンジする園児も現れています。



・スクイグズ

この玩具は色がカラフルで手触りが柔らかく、様々な吸盤が付いているので、色々な所にくっつけることができます。園児たちはガラス窓などにくっつけ、更にその上に別の物を重ねていくことによって、様々な形に変化するのを楽しんでいるようです。また、別の遊び方として、的を作り、その的に点数を書くことで数字に興味を持ちながら、友だちとゲーム感覚でルールを決め、ルールを守って遊ぶ中で友だちを見守ったり、応援したりしながら、勝ち負けを経験しています。この玩具の遊びを通して友だちとの関わりが深まったようです。

・組み立てを楽しむ様々な玩具

LEGO、BRIO などこれらの玩具は色、形を理解して自分の想像の世界を自由に作り出すという、園児の豊かな発想力を育てるのに役立ちました。また、手先の訓練などにも効果がありました。



・絵本棚

この絵本棚は低年齢の園児でも手が届きやすく、興味のある絵本を選んで保育者に読んでもらったり、字が読める園児たちは自分で好きな絵本を取り出して読んだりしています。今まで、自分たちで絵本を読むのが苦手だった園児たちが、今では絵本を読む時間が好きになり楽しそうに読む姿が見られるようになりました。

また、大型の絵本や紙芝居などを自分たちで選び、保育者に読んでもらっているときは満足そうな様子で聞き入っています。

・ピアノ

朝の会やお帰りの会など様々な場面でこのピアノを弾き、園児たちと季節の歌などを歌っています。心地よいピアノの音を聞いて集まってくる園児、音に合わせて楽しく歌い始める園児たちの姿が見られます。歌を歌うことがあまり得意ではなかった園児たちも今では自信を持って大きな声で歌うことができるようになりました。今後も、季節の歌や子どもたちの好きな曲を弾いて歌うことの楽しさや、音楽に合わせたリズム感やメロデーの美しさなどを伝えていきたいと思えます。



3. その成果と評価

開園したばかりの当園では、喉から手が出るほど欲しかった品々をそろえて頂いたことに心から感謝しています。特に、大きな成果としては、保育者が園児たちの成長を促すために今、準備し与えたい物は何かについて、時間を掛けて協議、検討できたことでした。

それだけに、揃えることができた物品のどれもが園児たちの「今」に応じたもので、園児たち一人ひとりの成長に結びつくものでした。特に、ハイハイする赤ちゃんが伝い歩きを始める時にそのあゆみを支えてくれるパーテーションは心強い役割を果たしてくれています。

その他、様々な玩具は指先の発達に有効であるだけでなく、それぞれの年齢に合わせた色や形を認識するのに有効な品々です。園児たちがこれらの玩具で遊ぶ姿を見ていると本当に「遊びの中で成長する」と言うことを実感させられます。

4. 今後の課題と展望

これから当園が目指そうと考えている保育実践は、遊びを通して、「豊かな感性の子」を育てることです。そのために異年齢の子どもたちが触れあえる保育環境を整え、年齢差のある子どもと遊ぶ中で、お互いが刺激し合い影響し合うことによって自立心や自己肯定感などを養っていけるものと期待しています。また、室内に、コーナー遊びができるスペースを作ることによって、子どもが気に入ったスペースの中で「集中する力」を養っていくものと考えています。

これらの遊びに欠くことのできない様々な玩具を揃えられたことは、一人ひとりの子どもたちの「豊かな感性」を育てるという本園の保育目標に大きく寄与してくれるものと、心から感謝しております。

以上